



水道課



災害に備えて



下水道課

断水への備え

大雨への備え

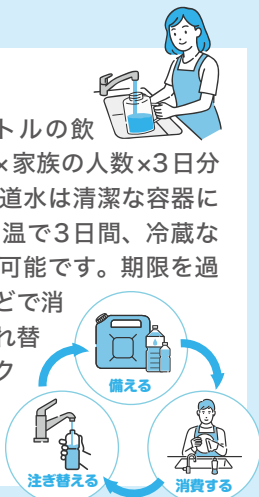
災害が発生した際は、取水停止や水道管の破断などによって水道水が止まる、断水が起こる可能性があります。いざという時のために、水の備えと情報の確認をしておきましょう。

大雨が降ると、大量の雨水で下水道管の排水能力を超え、満水になり、トイレや排水口からの逆流・道路の冠水などの被害が発生するおそれがあります。そんな時のために、家庭での備えや対処法を知っておきましょう。

家庭での備え

必要な水量と保存方法

災害時には、1人1日3リットルの飲料水が必要です。3リットル×家族の人数×3日分を目安に保存しましょう。水道水は清潔な容器に入れ、直射日光を避ければ常温で3日間、冷蔵なら1週間程度備蓄することが可能です。期限を過ぎた水は、食器洗いや洗濯などで消費し、定期的に新しい水と入れ替えるなど、「ローリングストック法」を参考に、上手に水を使いながら保存しましょう。



家庭での備え

非常持ち出し品の確認

飲み物、食料、懐中電灯などをすぐ持ち出せる準備をしておきましょう。



避難経路の確認をする

洪水ハザードマップで危険箇所をチェックし、家族で避難経路、避難場所を把握しておきましょう。



断水時の対処法

家の飲料水が不足したときは

災害時に断水が発生した場合、市内22か所の応急給水拠点で給水を行います。以下のQRコードから最寄りの応急給水拠点を事前に確認して、確実に給水できるようにしましょう。断水時の最新情報は、随時公式SNSで発信しますので、事前に登録・フォローをお願いします。



応急給水拠点の確認はこちらから▶

断水時のお願い

応急給水拠点に来る際は

応急給水拠点へはペットボトルやポリタンクなどの容器を持って行くようにしましょう。市でも準備していますが、容器の数に限りがありますので、ご理解とご協力をお願いします。なお、水1リットルの重さは1キログラムです。10リットルの容器を満水にすると、10キログラムの重さとなり、かなり重いです。容器をもって来る際は、台車やリュックなど、運ぶ道具があると便利です。



大雨時の対処法

トイレなどで「ぼこぼこ」と音がするときは

大雨時に下水道管が雨水で満水になり、空気が排水管に逆流し押し出されておこる現象です。対処法としては、できるだけ、トイレ・風呂などの使用を抑える、水のう（ポリ袋に水を入れたもの）でたまり水を押さえるなど溢れないように注意してください。



大雨時のお願い

トイレや台所が使えないときは

大雨で下水道管が満水になるとトイレや、台所の水が流れにくくなりますが、時間の経過とともに改善されていきますので、水の流れを確認しながら使用してください。



SNSで正しい情報を受け取る



災害時には誤った情報が広がることもあります。苦小牧市上下水道部では公式SNSとしてLINE・Instagramで情報を発信しています。登録・フォローをして正しい情報を受け取るようにしましょう。

苦小牧市
上下水道部
公式LINE



苦小牧市
上下水道部
公式Instagram

